

農山村漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

タイトル 素牛価格高騰に対する資金対応

JA名 みなみ信州（長野県）

1 動機 （経緯）	<p>飯田市下伊那地域で生産される肉用牛は、主に関西方面を販路とし好評価を得ている一方で、地元の認知度が低く、消費（地消）が少ない点が課題となっていました。</p> <p>課題を踏まえ、平成 18 年に南信州牛ブランド推進協議会（会長：飯田市長）が設立されました。同協議会は当地域で生産される肉用牛を「南信州牛」として地域ブランド化を進めていくことを目的として活動しています。</p> <p>素牛導入価格が上昇している近況は、生産者の資金繰りを圧迫し、素牛の導入に影響しています。肥育頭数減少の一因となっています。将来、肉用牛の供給量が低下することが懸念されています。</p>
2 概要	<p>南信州牛ブランド推進協議会の事務局である飯田市と連携し、素牛導入資金を対応することにより、生産者の素牛導入とその資金繰りを支援しました。</p>
3 成果 （効果）	<p>平成 26 年度に対応した資金実績は下記の内容です。</p> <p>実行件数 : 7 件</p> <p>実行金額 : 16,280 千円</p> <p>導入素牛 : 約 30 頭</p>
4 今後の 予定（課題）	<p>素牛価格の上昇局面が長期化した場合の資金枠の取扱と融資スタンスについて検証と検討が必要であると認識しています。課題となっています。</p>